

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公開番号】特開2018-121159(P2018-121159A)
 【公開日】平成30年8月2日(2018.8.2)
 【年通号数】公開・登録公報2018-029
 【出願番号】特願2017-10418(P2017-10418)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

B 6 5 H 7/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 D

G 0 3 G 15/00 1 0 7

B 6 5 H 7/06

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月23日(2019.12.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

媒体を搬送する媒体搬送路を構成する本体部と、

前記本体部に対して回動可能に設けられ、閉じることで前記本体部との間で前記媒体搬送路を形成し、開くことで前記媒体搬送路を露呈させる開閉体と、

前記開閉体を開いた状態に保持する保持手段と、を備え、

前記保持手段は、

回動することで起き上がった状態と倒れる状態とを切り換え可能であるとともに前記開閉体を支持する支持部を有して、前記支持部が前記開閉体と係合することで前記開閉体に対し開き方向の力を付与する回動部材と、

前記回動部材を前記起き上がり方向に付勢する付勢手段と、を備え、

前記付勢手段による前記回動部材への付勢力によって、前記支持部が前記開閉体に付与する前記開き方向の力と、前記開閉体が閉じようとする力とが均衡する構成を備える、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項2】

請求項1に記載の媒体搬送装置において、前記回動部材の前記支持部は、前記開閉体との係合及び係合解除が可能であり、前記開閉体が所定の開き角度を超えると前記回動部材の回動角度が上限に達して前記開閉体との係合を解除する、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項3】

請求項1に記載の媒体搬送装置において、前記回動部材は前記本体部に設けられ、前記支持部が前記本体部側を中心として回動することで、起き上がった状態と倒れる状態とを切り換える、

ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれか一項に記載の媒体搬送装置において、前記付勢手段は

、前記開閉体が閉じた状態での前記回動部材に対し、起き上がり方向の外力を付与しない、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 5】

請求項 1 から 請求項 4 のいずれか一項に記載の媒体搬送装置において、前記回動部材は、
回動中心側にカムフォロアを備え、
前記付勢手段は、前記カムフォロアを押圧するカムと、
前記カムに付勢力を付与する付勢部材と、を備える、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 6】

請求項 1 から 請求項 5 のいずれか一項に記載の媒体搬送装置において、前記回動部材の
前記支持部が前記開閉体に付与する前記開き方向の力と、前記開閉体が閉じようとする力
とが均衡する前記回動部材の回動角度が、複数設定されている、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の媒体搬送装置において、前記開閉体は、前記支持部に対して上側に位
置し、前記開閉体の開閉の際に前記支持部が摺接する摺接面を備え、
前記摺接面には、前記支持部の摺接方向に沿って所定の間隔を空けて複数の突起が設け
られている、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の媒体搬送装置において、
前記摺接面は複数の支持面で構成され、
前記開閉体の開閉角度に応じて、前記支持部と接触する前記支持面が変更される、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 9】

請求項 4 に記載の媒体搬送装置において、前記開閉体は、前記支持部に対して上側に位
置し、前記開閉体の開閉の際に前記支持部が摺接する摺接面と、
前記開閉体が閉じた状態で前記摺接面との間で前記支持部を挟む様に位置する第 1 係合
部と、を有し、
前記開閉体が閉じた状態から開く際、前記第 1 係合部が、前記支持部に対し起き上がり
方向の力を付与する、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 10】

請求項 9 記載の媒体搬送装置において、前記開閉体は、当該開閉体が閉じた状態で前記
支持部の下側であって前記第 1 係合部より前記支持部から遠い場所に位置する第 2 係合部
を備え、
前記第 2 係合部の下側に傾斜面が形成され、前記開閉体が開き且つ前記回動部材が倒れ
た状態から前記開閉体が閉じる際、前記傾斜面によって前記第 2 係合部が前記支持部を乗
り越えて前記支持部の下側に入り込む、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 11】

媒体を読み取る読み取り手段と、
媒体を搬送する、請求項 1 から 請求項 10 のいずれか一項に記載の前記媒体搬送装置と
、
を備えた画像読取装置。

【請求項 12】

本体部と、
前記本体部に対して回動することで前記本体部の少なくとも一部を開閉可能な開閉体と
、

前記開閉体を開いた状態に保持する保持手段と、を備え、

前記保持手段は、回動することで起き上がった状態と倒れる状態とを切り換え可能であるとともに前記開閉体を支持する支持部を有して、前記支持部が前記開閉体と係合することで前記開閉体に対し開き方向の力を付与する回動部材と、

前記回動部材を前記起き上がり方向に付勢する付勢手段と、を備え、

前記回動部材の回動角度に応じた、前記付勢手段による前記回動部材への付勢力によって前記支持部が前記開閉体に付与する前記開き方向の力と、前記開閉体が閉じようとする力とが均衡する構成を備える、
ことを特徴とする開閉装置。